

問1 江戸時代に改良され、農業の生産力を高めるのに役立った「千歯こき」や「備中ぐわ」は、どのような目的で使われた道具ですか。

問2 坂本龍馬が仲立ちをして結ばせることに協力した「薩長同盟」は、対立していた何藩と何藩の同盟ですか。

問3 江戸幕府が、全国の大名を徳川家との血縁関係や主従関係の深さによって「親藩・譜代・外様」の3つに分けた一番の目的は何ですか。

問4 薩摩藩や長州藩などが中心となり、江戸幕府をたおして新しい政府をつくろうとした動きを何といいますか。

問5 江戸時代に出版された「解体新書」は、もともと何語の医学書を翻訳したものでですか。

問6 1543年にポルトガル人によって鉄砲が初めて伝えられた、現在の鹿児島県にある島はどこですか。

問7 江戸幕府の第15代将軍で、政権を朝廷に返す「大政奉還」を行った人物はだれですか。

問8 江戸幕府が、全国の大名を管理し、勝手な行動をおさえるために決めたルールを何といいますか。

問9 江戸時代の中ごろに人口が100万人をこえる大都市となり、「将軍のおひざもと」とよばれた都市はどこですか。

問10 江戸時代に、武士の子どもたちが学ぶために、それぞれの藩につくられた学校を何といいますか。

問11 豊臣秀吉が全国の田畑の面積や土地のよしあし、耕作している人を調べて記録させた政策を何といいますか。

問12 1549年に、スペイン人の宣教師フランシスコ・ザビエルによって日本に新しい宗教が伝えられたできごとを何といいますか。

問13 1600年に行われた「関ヶ原の戦い」で勝利し、その後に江戸幕府を開いた人物はだれですか。

問14 えどじだい ちょうにん のうみん こども よみ か き まなぶ かよつ ばしよ なんと
江戸時代に、町人や農民の子どもたちが読み書きやそろばんを学ぶために通った場所を何といいますか。

問15 織田信長の後を継いで天下統一を達成し、大坂城を築いたほか、検地や刀狩などの政策を行った人物はだれですか。

問16 1867年に、江戸幕府の15代将軍である徳川慶喜が、政治を行う権利を朝廷に返した出来事を何といいますか。

問17 徳川家康が江戸に幕府を開いてから、幕府がたおされるまで続いた時代のことを何といいますか。

問18 本居宣長が研究した「国学」とは、どのようなことを知ろうとする学問ですか。

問19 徳川家康が江戸に幕府を開いてから、幕府がたおされるまで続いた江戸時代は、およそ何年間ありましたか。

問20 豊臣秀吉が明（中国）を征服しようとして、2度にわたって朝鮮へ兵を送った出来事を何といいますか。

問21 豊臣秀吉が百姓から武器を取り上げて刀狩をおこなったのは、何を防ぐためですか。

問22 日米修好通商条約によって、貿易のために開くことが決められた5つの港はどこですか。